

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	安全・安心に暮らせる地域づくり		
施策	③交通安全対策の推進			
(施策の小項目)	○交通安全環境の整備			
主な取組	交通安全施設等整備事業	実施計画 記載頁	133	
対応する 主な課題	○交通安全対策として、信号機の増設をはじめ、交通安全施設の整備が求められており、さらに、老朽化した信号機や道路標識、消えかかっている道路標示等の更新についても充実強化する必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	安全で円滑な道路交通を確保するため、交通信号機の新設・改良・更新、交通管制システムの充実・高度化、管制エリアの拡大及び信号機の集中制御化、高度道路交通システム(ITS)の整備、道路標識(規制標識及び指示標識)、道路標示(横断歩道、停止線等)の新設・更新に取り組み、交通安全環境の整備を推進する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	交差点信号機の集中制御化				789基 (累計) →	→	県
	交通信号機、道路標識等の新設・更新等						
	交通管制システムの高度化						
担当部課	警察本部 交通部交通規制課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成28年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
交通安全施設費	1,859,142	1,843,114	交通信号機の新設5基、改良168基、更新102基を行い、交通管制システムの高度化更新を行った。 高度道路交通システム(ITS)の一環として、バス路線への公共車両優先システムの整備、更新を行った。 道路標識及び道路標示の新設・更新を行った。 (道路標識2,422本、横断歩道63km、実線102km)	県単等
活動指標名			計画値	実績値
交通信号機の集中制御化			789基(累計)(28年)	751件(累計)
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成28年度取組の効果			
順調	今年度は、交通信号機の集中制御化の実施はないが、計画値789基に対し、累計は751基(達成率95%)で堅調に推移している。 交通安全施設の老朽化更新、交通管制システムの高度化更新、公共車両優先システムの整備、更新により、交通の安全と円滑化を図った。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成29年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
交通安全施設費	1,275,333	交通信号機の新設(12基)、改良・更新(157基) 交通管制システムの充実・高度化(28基) 高度道路交通システム(ITS)の整備(10基) 信号機電源付加装置の整備(19基) 道路標識・標示の新設・更新(標識2070本、横断歩道72km、実線140km)	県単等

(3) これまでの改善案の反映状況

平成28年度の取組改善案	反映状況
①業務の外部委託等事務の合理化を図り、交通安全施設の新設、改良、更新を効率的に行う。	①新設信号機、道路標識標示等の設置に伴う設計を外部委託することで事務の合理化を図り、交通安全施設の新設、老朽化施設の計画的な整備を行った。
②交通事故発生箇所等の分析等を参考にした交通信号機設置、交通安全施設種別の見直し、改善を図る。	②交通事故発生箇所等を分析し、交通安全施設の新設、移設整備を行った。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
交通事故死者数	45人 (23年)	39人 (28年)	39人以下	△6人	3,904人 (28年)
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
交通人身事故発生件数	6,242件 (26年)	5,621件 (27年)	5,491件 (28年)	↗	499,201件 (28年)
状況説明	交通管制システムの高度化、交通信号機、道路標識等の新設・更新等を行ったことで、年間交通事故死者数は39人となり目標値を達成することができたほか、交通人身事故発生件数が5,621件(前年比△751件)と減少するなど、交通の安全と円滑化を図った。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)

<p>○内部要因</p> <p>・交通安全施設整備に関する技術習得に時間を要するため、執行体制の確保が困難な状況である。</p> <p>○外部環境の変化</p> <p>・新設道路の供給に伴い、新たに必要となる交通安全施設を迅速かつ適切に設置するとともに、老朽化した交通安全施設の更新を着実・計画的に実施する必要がある。</p>

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<p>・老朽化した交通安全施設の整備を効果的・効率的に行うため、老朽実態を把握したうえで更新年次計画を策定する必要がある。</p>

4 取組の改善案(Action)

<p>・業務の一部外部委託や交通安全施設をデータベース管理するなどして事務の合理化を図り、交通安全施設の新設、改良、更新を効率的に行う。</p> <p>・交通事故発生箇所等の分析等を参考にした交通信号機設置、交通安全施設種別の見直し、改善を図る。</p>
